



No.21-057
2021年 11月11日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央

オンライン含む常任幹事会 (11/10)

野党共闘 改憲・軍拡勢力へたたかい強化 名護市長選勝利と辺野古新基地建設反対を

安保破棄中央実行委員会は10日、オンラインを含む常任幹事会を全労連会館・民医連会議室で開き、当面のとりくみを確認しました。8団体10名が参加しました。

報告した東森英男事務局長は、総選挙で自民・公明など改憲や軍拡、新自由主義政策の推進勢力が3分の2以上を占めたことは重大で、国民的たたかい強化が求められると指摘。来年の参議院選に向けて野党共闘体制の強化が課題と強調し、岸田政権の反国民的本質を国民に明らかにし、政治転換に向けた運動が重要だと訴えました。

辺野古新基地建設問題では、政府による沖縄県への財政締付けなどアメとムチの政策を明らかにし、たたかいの強化が求められると指摘し、来年1月23日投開票の名護市長選で岸本洋平さんの勝利を訴えました。

当面のとりくみでは、東森氏は来年の名護市長選に向けて、募金運動を呼びかけるとともに、新型コロナ感染状況などの問題を見極めながら人的派遣などを検討、「オス



プレイの飛行中止と配備を求める署名」を当面、年末の臨時国会提出のため12月6日集約、「土地利用規制法」施行を許さないたたかいに向け、意見採択などのための資料提供とリーフレットの活用、12月1日の「大軍拡に反対する院内集会」開催などを提起しました。

討論では、総選挙でのオール沖縄への支援や馬毛島基地建設の状況、日本平和大会へのとりくみを報告(平和委員会)、11月21日のオスプレイはいらない東京大集会への呼びかけ(安保東京)、などのとりくみが報告されました。



燃料パイプラインとガス感知器警報装置の場所を示す地図 (DLA報告書から)

2014年に米軍が実施した、うるま市の天願棧橋から北谷町のキャンプ桑江などの地下を通り普天間基地を最終地点とするパイプラインの検査では、燃料漏れの際に気化するガスを感知するシステムの72%が機能していませんでした。60台のうち43台で、感知装置や警報に故障や欠陥などの問題があり、燃料漏れの警報が軍のコントロールセンターに伝わるのを妨げていました。沖縄県内では、米国防総省の兵站局(DLA)が約120キロのパイプラインを運用しており、年間3億4千以上の燃料が天願棧橋から本島各地の空軍、海兵隊基地に供給されています。パイプラインの周辺住民からは、驚きと不安で、米軍の十分な管理体制に怒りの声が上がっています。

沖縄タイムスは11月3日、米軍が沖縄県内の燃料パイプライン網を安全装置が十分に機能しないまま運用し、大規模な燃料漏れや爆発の危険にさらされていたことを報じました。

沖縄

米軍のパイプライン網機能せず
燃料漏れ 70%以上が不能

最高裁裁判官の国民審査 沖縄の罷免 14.8% (全国の2倍)

最高裁裁判官の国民審査の結果が11月1日に発表されました。罷免(×を付ける)を求める率が沖縄は、平均14.8%で、全国(6.8%)の2倍以上になりました。対象11人中、罷免率の上位には、辺野古新基地建設の訴訟で県に不利な判断をした裁判官が並びました。夫婦別姓を認めなかった裁判官の罷免率も高かったです。県内で最も罷免率が高かった深山卓也氏は、辺野古新基地をめぐる「国の関与」取り消し訴訟では裁判長を務めて、県側の上告を棄却しました。

ドイツ艦艇 日本に寄港 海自と共同訓練

ドイツ海軍のフリゲート艦「バイエルン」が11月5日、東京国際クルーズターミナルに寄港しました。日本寄港は19年ぶりです。同艦は4、5日に海上自衛隊との共同訓練を実施し、北朝鮮船舶の「瀬取り」の監視行動に参加しています。